

AI 時代—教育の変化

図 3-8

自ら考える学習者を実現する 対話コーチング					
	教育者のふるまい	T：指導者	S：学習者	身につく力	
これまでの教育	コマンド 命令・指導 ↓	このリンゴを食べなさい。		はい。	従順性
	ティーチング 教える [正解があるもの] ↓	リンゴは〇〇〇なんだよ。		わかりました。	知識・理解
これからの教育	コーチング 対話 ↓	何のためにリンゴがいるの？		私のビジョンは…だから〇〇〇	[創造的な思考] ビジョン力 課題発見力 目標設定力 情報獲得力 状況対応力 コンピテンシー 思考力 判断力 行動力 発想力 課題解決力 提案力 自信
	セルフコーチング	キーワード ○ プロジェクト学習 ○ ポートフォリオ ○ 対話コーチング		何のためにするの？ メタ認知	メタ認知力 自己成長力 自律 セルフマネジメント力

「思考・判断・行動」のコーチング

現状・状況…「今はどうなの？」
 ありたい状態…「どうだったらいいの？」
 焦点化…「いちばん大事なことは何？」
 行動化…「そのために具体的に何をしますか？」
 目的確認…「何のために？」

コーチングのポイント

- ・まずは、相手が話すようにする。
- ・想像力、イメージを誘いながら問う。
- ・選択形式の問いかけはしない。
- ・1回にひとつの内容、短いことばで。
- ・相手に答えを言わせようとするのはコーチングではなく誘導。